

シンポジウム

「共に支え合う連帯社会の構築をめざして」

島根県労福協事例報告資料

2023年11月27日(月)

一般社団法人島根県労働者福祉協議会

参 与 福間 三郎

島根県労働者福祉協議会とは

島根県労福協は、1972年に労働団体、労働金庫、全労済等が、労働者の幸せを追求し、相互扶助・共助の活動体として設立した労働者自主福祉組織です。地域を含めた勤労県民の福祉向上のため、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現」に向けて、諸活動を行っています。

島根県労福協は、労働団体や労働者福祉に関わる事業団体、生活協同組合、
10地区の労働者福祉協議会で構成する53,000人の県組織です。



※労金運動と労済運動を県労福協の運動の主要な柱と位置づけ、各地区労福協は原則として「労金部会」並びに「労済部会」を設置、主体的に推進に取り組むことのできる環境を構築

くらしサポートセンター島根

こまったときは
ひとりで悩まないで！
まずは相談を！！



仕事・くらしで発生するいろいろな悩みごとについて、何でも相談に応じ、一緒に解決します。無料・秘密厳守ですので、安心してご相談ください。

仕事上の悩みの相談！

雇用全般、労働契約、賃金、労働時間、残業未払、パワハラ・セクハラ・マタハラ、差別など

生活上の悩みの相談！

生活苦、多重債務、子育て、介護、家族関係、心の健康、悪質商法、相続問題など

相談をご希望の方は下記フリーダイヤルにてお電話ください。

フリーダイヤル：**0120-969-234**

相談日：月～金（祝・休日及び年末年始を除く）

毎週水曜日は女性相談員も相談を承ります。

時 間：10:00～16:00

所在地：〒690-0007 松江市御手船場町557-7（労働会館別館）

※西部地区（大田、浜田、益田）では出張相



くらしサポートセンター島根暦年相談実績推移



連合島根とともに一貫して支援

2015年一人の労働者の労働相談から、驕る権力者との闘いへ！
多くの労働者の「声なき声」に応えるために闘うことを選択！

社内結婚を認めない職場⇒事実婚を選択

事実婚の発覚⇒県内水産業のドンからの執拗な嫌がらせ
女性への退職強要、男性には離島事業所への配転命令

個人加盟の連合島根ユニオン、くらしサポートセンター島根での度重なる協議を通じた支えによって、「泣き寝入り」から「逃げてはならない」に気持ちが変化
県労働委員会斡旋、労働審判を経て、5年にわたる裁判闘争へ。

連合島根による物心両面の支えによって2016年1月、男性側は「配転無効確認及び損害賠償請求事件」、女性側は150項目に上る「パワーハラスメント損害賠償請求事件」として民事訴訟を提起。

2018年6月の地裁判決は、原告にとって厳しいものとなり控訴を決断。

2019年9月の高裁判決は、地裁判決を覆し逆転勝訴。「主文、控訴人は労働契約上の配転の義務はないことを認め、協会に損害賠償金、488万円余の支払いを命ずる」、判決理由「本件配転命令は、業務上の必要性を欠き、むしろ不当な動機と目的に基づいてなされたものであって、権利の濫用に当たり無効」と断じた。

パワハラ損害賠償請求事件も、地裁判決(原告勝訴)を支持し判決確定。

被告側は、高裁判決に事実誤認があるとして上告。最高裁は4か月後の2020年2月、「本件の上告を受理しない」旨決定、会社側敗訴が確定。

以降も、男性の復職を認めないだけでなく、女性へのパワハラ等会社の嫌らせは止まず、新たに2件の民事訴訟を提起し、和解を勝ち取る。

・・・一人でも泣いているものが無いように・・・

歴史に残る裁判闘争

『配転命令無効確認事件』『パワーハラスメント損害賠償請求事件』

無料職業紹介所 就職サポートセンター島根

目標ぞう再就職！
あなたの「働きたい」を
応援します！



職業紹介・相談

求職情報を提供する無料の職業紹介所です。求職者のみなさんに対する試労相談、職業紹介などを行います。事業者のみなさまからの相談も承ります。

求職者のみなさま

就職活動の仕方がわからない。急なリストラで困っている。子育てが終わったので働きはじめたい。島根にUターンして働きたい。



<浜田センター>

企業のみなさま

求人を募集するがなかなか集まらない。

ミドル・シニア仕事センター

0852-61-6111 (松江) 0852-61-6117 (松江)

0855-25-5111 (浜田) 0855-25-5207 (浜田)

レディース仕事センター

相談日：月～金（祝・休日及び年末年始を除く）

時 間：9:30～18:00

所在地：

松江 〒690-0007 松江市御手船町557-7（労働会館3F）

浜田 〒697-0052 浜田市港町227-1（ゆめタウン浜田2F）

レディース仕事センター主催「就労のための
パソコン講習会」浜田会場の様子



合同企業説明会松江会場の様子

就職サポートセンター島根設立の経過

2008年に、島根県労福協、連合島根、中国労金、全労済(現こくみん共済coop)四者が連携し、広範な県民の生活・労働分野の相談に応じて、ワンストップで問題解決を図る「くらしサポートセンター島根」を立ち上げ、年間千件を超える相談に対応してきた。

立ち上げ当時は、リーマンショックによる派遣切りや雇い止めによる生活苦の相談が多く、アドバイザーは役所や社協、法律事務所等への同行等、相談者に寄り添って対応してきたが、ワンストップサービスを謳いながら、就労先がなく困っているとの相談に対しては、ハローワークを紹介するにとどまっていたことが課題であった。

このような問題意識から、無料職業紹介事業を自ら取り扱うことを決断し、「就職サポートセンター島根」を立ち上げ、2015年5月に厚労省から「無料職業紹介事業許可」を取得した。

時を同じくして、島根県が公募する「中高年齢者就労支援委託事業」の企画提案競技への参加打診があった。事業の目的は、「県内に在住する、おおむね45歳以上の『離職者の早期就職を促進』すること」だったが、背景には全国に先駆けて進む人口減少=労働力不足への対応もあった。

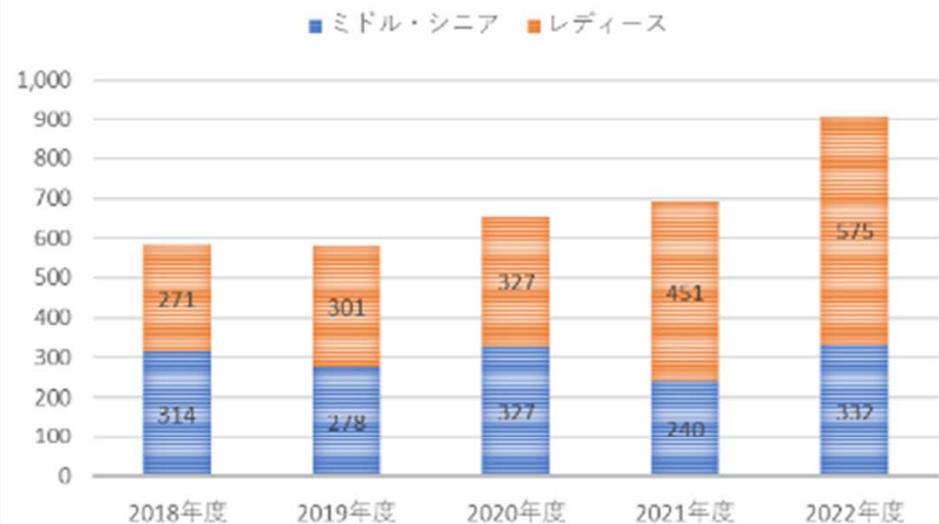
企画提案競技への参加を提案した理事会においては、「県労福協に県の委託事業を取り扱う力量があるのか。身の丈に合った事業に特化すべきではないか。」等の慎重論もあったと聞くが、就職困難者とされる中高年齢者の就労支援事業は「連帯・協同の精神で勤労者の福祉向上を図る」という労福協の理念に合致するものとして、組織を挙げて取り組むことを確認した。

連合島根、中国労金、全労済、県生協連、県下10地区労福協からなる会員組織のほか、県経営者協会等のバックアップも受け、「就労こそ最大の福祉」をスローガンとして企画提案競技に臨んだ結果委託先として採択され、2015年10月より松江市と浜田市に拠点を置き事業を開始した。

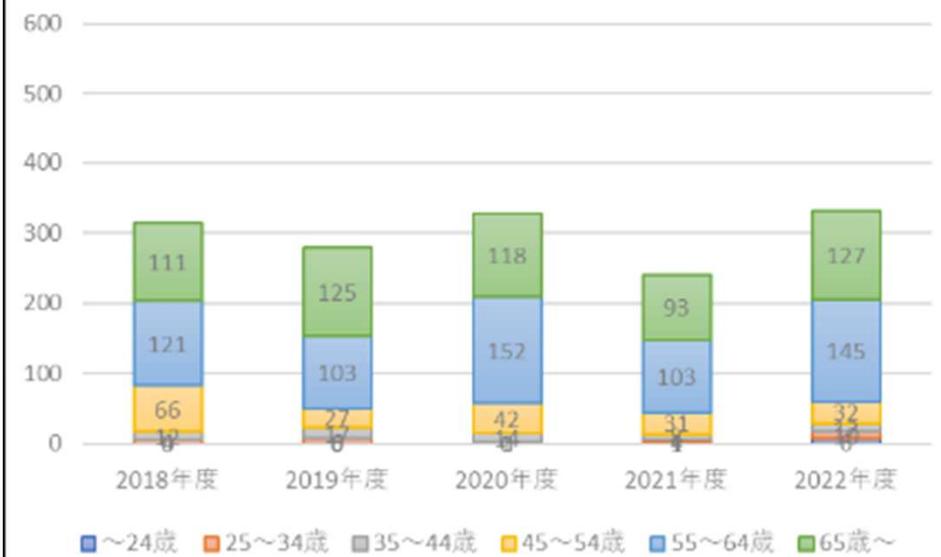
手探りで始めた事業だったが、求人企業での面接への同行等、他の職業紹介機関にはない「寄り添い・伴走型」で求職者本位の丁寧な対応が評価され、徐々に社会的な認知度も向上した。さらに2018年度、島根県が新たに立ち上げた女性の潜在労働力活用を目的とした「女性就労支援事業」の委託も受けて、現在に至っている。

また2022年度からは、有業率は高いものの非正規雇用が多い県内女性労働者の雇用状況を、スキルアップ支援等を通じて改善することを目的とする「働きながら学ぶ女性応援事業」の委託も受けている。

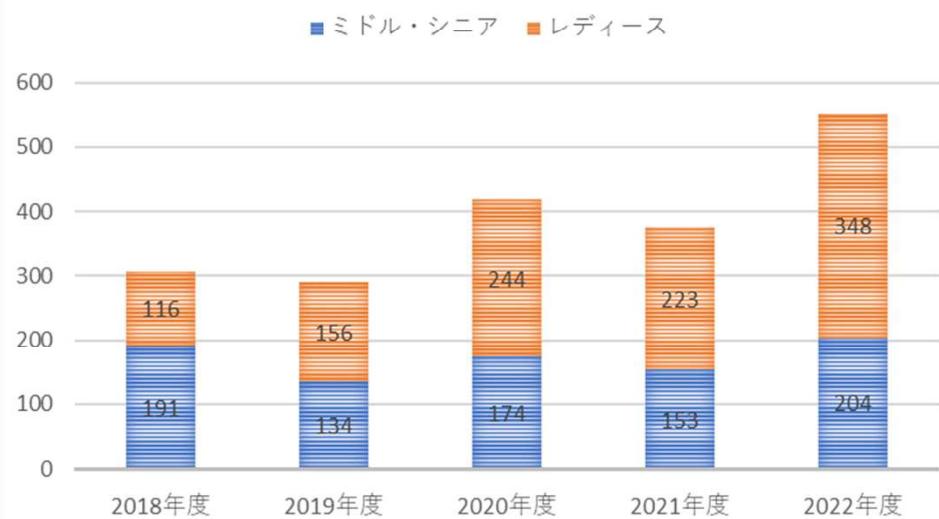
新規求職者数実績推移



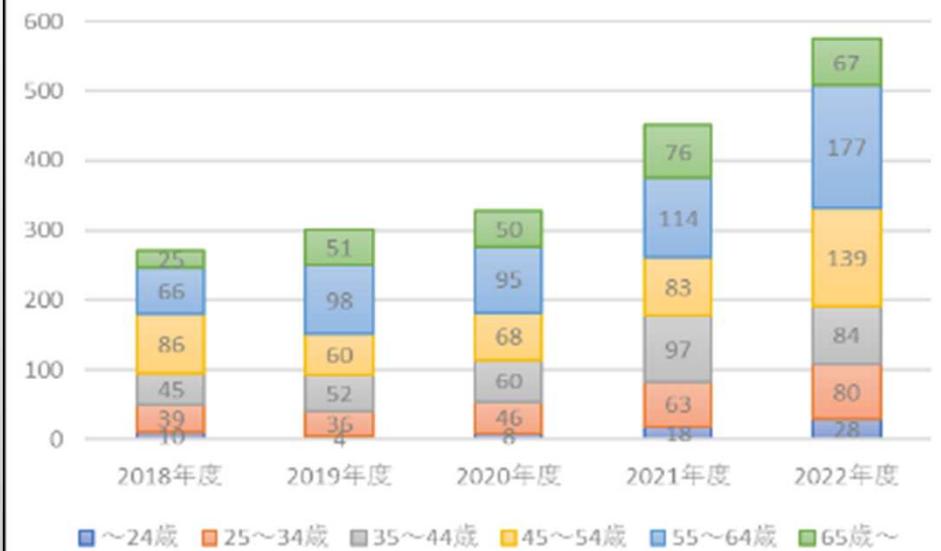
ミドル・シニア新規求職者年代別分布推移



就職者数実績推移



レディース新規求職者年代別分布推移







ワークルール講座の様子



その他の活動



●ライフプランセミナー

退職準備セミナーとして、年金・健保・雇用保険・税金、生活設計などを社会保険労務士から学びます。



●高校生のための出前講座

「高校生のための消費者講座」の出前講座です。卒業する高校生が消費被害者にならないよう多重債務や悪質商法について学びます。「働きはじめる人のワークルール講座」も出前しています。

●勤労者のための福祉講座

働きつづける人のための福祉講座です。必要な知識（ビジネスマナー・接遇）、教養やスキルを学びます。人前での話し方、コミュニケーションの取り方、プレゼンの仕方などにきっとお役に立ちます。



●フードバンク活動

「フードバンクしまねあったか元気便」に賛同しフードバンク活動の協力をしています。市民、企業、団体の皆さまよりお米を中心とした食品やお金を寄付していただき、さまざまな事情で生活に困っている子どものいる家庭へ食品を無償でお届けしています。



●ボランティア活動

ひとり暮らしの高齢者宅の障子貼り・窓ふき・福祉施設の外部清掃、無人駅の清掃など地域でさまざまなボランティア活動を通じて社会貢献を行っています。

●労働会館の運営管理

会場準備から後片付けまでおまかせ！心のこもったサービスをご提供します。会議・研修・懇親会にご利用ください。



●機関紙発行・広報活動

～「福祉はひとつ」の精神で～「フードバンクしまねあつたか元気便」の取り組み

フードバンクしまね あつたか元気便とは

2019年6月より任意団体として立ち上げ、活動を開始。市民、企業、団体の皆さまより食品やお金を寄付していただき、給食がなくなる長期休み期間中（年4回）、松江市内の小・中学校のお子さんがいる生活困窮世帯（就学援助世帯）に食品を無償でお届けしています。



【フードバンクしまね あつたか元気便の構成団体】

JAしまね・生協しまね・グリーンコープ島根
県労働者福祉協議会（ろうきん・こくみん共済コープ・県生協連・連合島根）
松江保健生協・地域つながりセンター・個人会員

島根県労福協の関わり

- ・2016年度、前身の団体にオブザーバー参加
- ・2019年6月、任意団体設立に伴って正会員となり、副代表他役員派遣
- ・2022年8月NPO法人化
- ・関係団体に向けて、パッキングボランティアやフードドライブ活動への参加や、寄附等のよびかけ

食品提供を通して、
「就学援助世帯」の
子どもたちを
応援しています！



～すべての子どもたちが笑顔で暮らせる地域づくりをめざして～

フードバンクしまね あつたか元気便の活動は、学校の長期休み明けに渡せて登校してくる児童がいる。「なんとかしないといけない」という一人の小学校の校長先生の熱い思いから始まりました。

2018年、市内1校28世帯の利用からこの活動がスタートし、その活動は多くの方に支えられ、2022年には、松江市内12校約300世帯まで拡大しました。

これらの小・中学校に通う児童生徒数は、松江市内の3分の1を占めており、スタート当時と比べると、点から面の取り組みに広がりつつあります。

また、全国各地3千人を超える方々から募金が寄せられ、協力団体・企業は、69社にのぼります。あつたか元気便の発送作業には、高校生や大学生をはじめ幅広い世代にボランティア参加いただいており、「支え合いの輪」も大きな広がりをみせています。

メッセージをいただきました

食料支援を受け取りに行った際、「何か困ったことがあれば相談してくださいね。」と声をかけていただき、優しい声が「かわいい」と温かく嬉しい感じました。いつも様々な種類の食料を送っていただき、息子と一緒に喜んでいます。

家族みんなで「夏のサンタさんだよ！」と言ってとても喜んでいます。ひとり親で収入が少ないと、子ども達に十分好きな物（食べ物）も買ってやれないので、あったか元気便で届く物はどんな物でもありがとうございます。夏休みで子ども達もありがとうございました。お昼御飯で留守番させてるので、お昼御飯用に「温めるだけですぐに食べられる物」は、すごく助かります。

あったか元気便に感謝いたしました。高校生の兄も大きな箱の中の品物、開封してあった手紙に感動していました。ありがとうございます。

ひとり親で子育てしている中、一人でやっているんじゃないんだと勇気づけられます。この活動がずっと続いていることを願っています。

今回もとても楽しみにしていました。み餅がたくさん入っていたので早速お正月に食べたいと思います。とても助かりました。図書カードもとっても喜しかったです。子どもにプレゼントしました。

フードバンクしまね あったか元気便

10月3日 8:06・④

【稲刈りを行いました！】

9月30日に行われた連合島根さん主催の「アフリカ支援米収穫祭」の稲刈りに、フードバンク利用世帯の8家族から19人の親子さんやサクラ高等学院の生徒さんら総勢26人が参加しました。

子どもたちは、5月に田植えをした田んぼに入り、手に手に鎌をもち、たわわに実る稲を刈り、稻穂で掛け収穫体験を行いました。





フードバンクしまね あったか元気便

215 件の「いいね！」・フォロー269人



フードバンクしまね あったか元気便
2022年11月22日・④
【お米のご寄付をいただきました】
21日、連合島根（成相善朗会長）と全農林労組松江分会（伊藤克清委員長）より、昨年に引き続き新米480kgが贈呈されました。
これは、同会がアフリカの子どもたちに支援米を贈る取り組みの一環で田植えをして育てたお米です。-さらに表示

フードバンクしまね あったか元気便
2022年11月22日・⑤
【島根県労働者福祉協議会よりご寄付をいただきました！】
21日、労働会館で島根県労働者福祉協議会からの寄付金贈呈式が行われました。

式では、同協議会の成相善朗理事長より、あったか元気便の香日邦宣理事長に「フードバンクの取り組みに役立ててほしい」と、寄付金50万円の目録が贈られました。-さらに表示

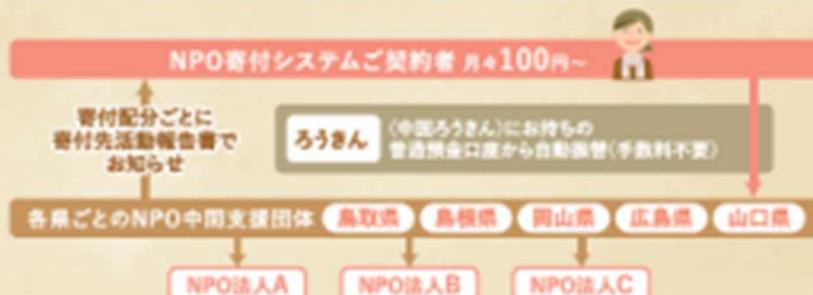


中国労働金庫NPO法人支援の取り組み

100円からできる

NPO寄付システムのしくみ

（ろうきん）には、
みなさまの普通預金口座から一定期間ごとに
NPOへの寄付金を自動引落とする制度があります。
19の活動分野におまかせコースを加えた
20コースから寄付先分野をご選択いただけます。
月々100円から、
自動振替ができるボランティアです。



1

寄付金の行方が明確

お申込みいただくと、寄付先のNPO団体等から年1回以上ニュースレター等の活動報告が届きます。あなたの寄付金がどのように活かされたかが分かります。

2

寄付は普通預金口座からの自動振替

寄付金は、（中国ろうきん）の普通預金口座から自動振替なので、大変便利です。
※自動振替に必要な普通預金口座をお持ちでない方は、面倒な（中国ろうきん）窓口までお問い合わせください。

3

少額から気軽に参加できる

寄付金は毎月100円から（100円単位）ご希望の金額で無理なく寄付できます。



●2022年度の各県の寄付金配分状況

| | NPO中間支援団体 | 応募団体数 | 寄付団体数 | 寄付金額合計 |
|-----|------------------------|-------|-------|--------|
| 鳥取県 | 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター | 11団体 | 8団体 | 40万円 |
| 島根県 | 公益財団法人 ふるさと島根特定財団 | 34団体 | 27団体 | 172万円 |
| 岡山県 | 公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま | 22団体 | 6団体 | 30万円 |
| 広島県 | 特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター | 6団体 | 6団体 | 30万円 |
| 山口県 | 特定非営利活動法人 やまぐち市民ネット21 | 22団体 | 5団体 | 25万円 |
| 合 计 | | 95団体 | 52団体 | 297万円 |

●過去5年間の寄付金実績

| | 応募団体数 | 寄付額 |
|--------|-------|-------|
| 2017年度 | 51団体 | 320万円 |
| 2018年度 | 54団体 | 295万円 |
| 2019年度 | 51団体 | 283万円 |
| 2020年度 | 60団体 | 327万円 |
| 2021年度 | 59団体 | 322万円 |

